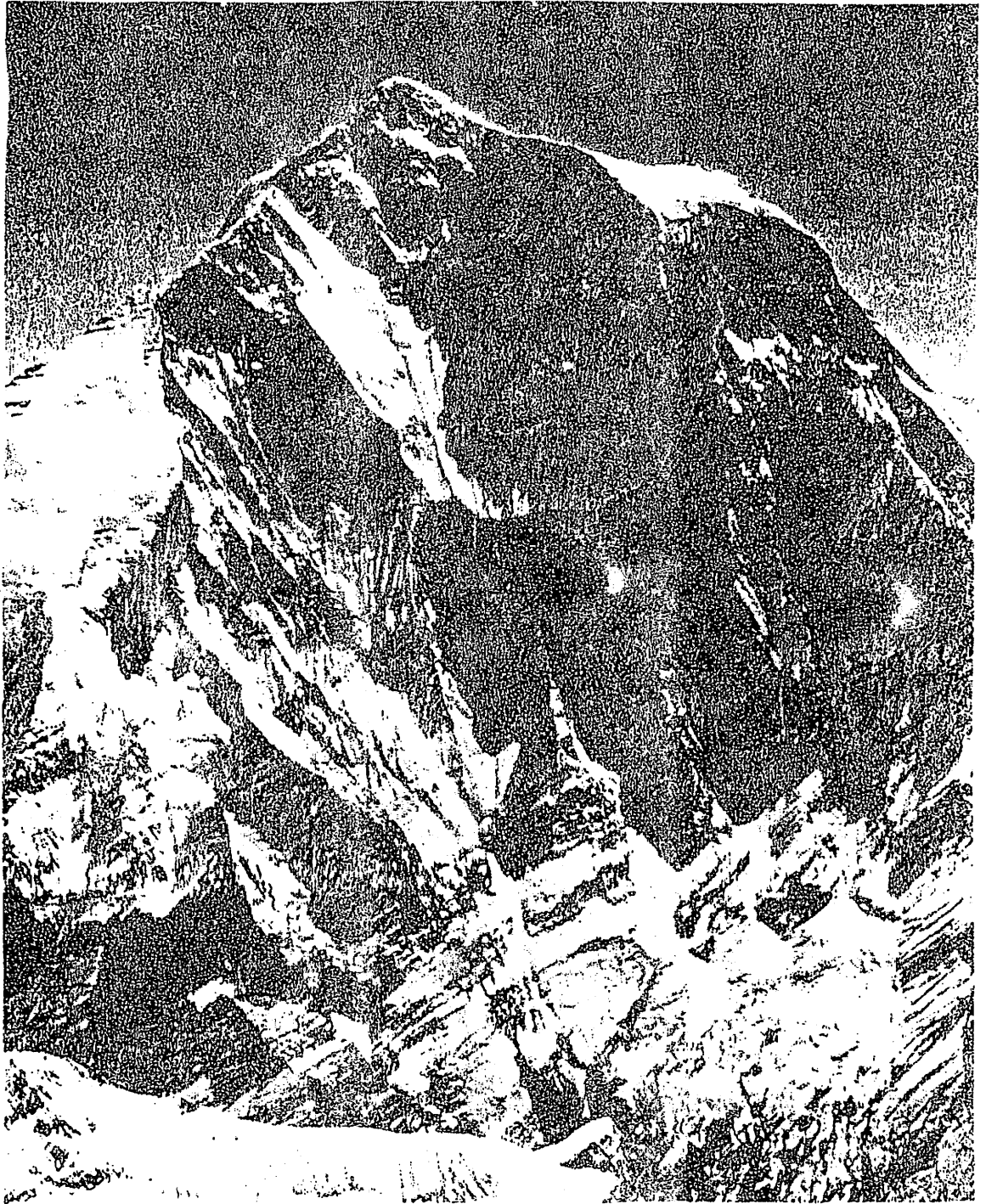


# 1991 夏山行報告書



信州大山会

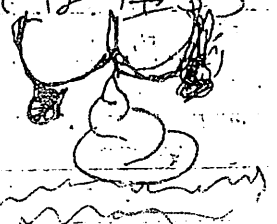
# 目次

パミール高原遠征	1~2 P
屏風岩 東嶽・雲稜	2 P
富士山	3 P
南アルプス縦走	3 P
黒部丸東壁	4 P
北アルプス縦走	5 P
北ア北穂尾谷	6 P
穂高連峰縦走	7 P
北岳 バットレス	7 P
中央アルプス西横川	8 P
前穂北尾根	8 P
戸隠 裾花川	9 P
檜ヶ岳、小檜	9 P
サマ天からの山行	10 P
夏合宿	11~26 P
後の反省	26~28 P
決算	27 P
リーダーの言葉	28 P
反省・感想	28~34 P
作文	35~38 P

仁人のウンコについて 兼岩 勲  
 普通の仁人の村々の家にはトイレはありません。外で  
 用を足します。Puriの漁村では、朝 7:00にもなると、  
 男たちが、波打ちぎわに、ずらーと並んで、ウンコして  
 います。行列車に乗っていると、朝、おりとおら~~あ~~ゆるとこ  
 ろで、水がめをを持った人々が、ウンコしています。  
 女の人と男の人は、場所が、一た違ふみたいで、  
 分かれてやっています。どっちにしろ、丸見えです。  
 ウンコ大好き人間には、たまらない光景です。

仁人も日本人も、白人も、ウンコなしでは生きて  
 けません。

ウンコは、地球を救う!



# パミール高原遠征 (ソビエト国際キャンプ)

今回の遠征では橋口がコムニズマ峰(7495m)とレーニン峰(7134m)の二座連続登頂に、河西はコムニズマ峰のみ(レーニンはC3迄)の登頂に成功した。以下はその概略を示します。

7/8 新潟 → イバロフスク 7/10 モスクワ着

7/11 モスクワ → オーシ(キルギス共和国) → (バス) → アチクタシ BC (3700m, レーニン峰の BC)

7/12 「冒険者の峠」 手前 3900m まで偵察

7/13 アチクタシ BC → (ヘリコプター) → モスクビン BC (4200m, コムニズマとコルジェネフスカヤ峰の BC) 夕方モスクビン氷河 4400m まで偵察

7/14 モスクビン氷河 4400m まで偵察

7/15, 16 休養日

7/17 モスクビン氷河 4400m まで偵察

7/18 (河) コルジェネフスカヤ峰 C1 途中 4700m まで偵察  
(橋) " " 5100m まで偵察

7/19 (河) コルジェネフスカヤ C1 5100m まで偵察  
(橋) 休養

7/20 (河) ヴァリテル氷河 4400m まで偵察  
(橋) コルジェネフスカヤ C1 5500m まで偵察

7/21 (河) ヴァリテル氷河 4400m まで偵察  
(橋) 休養

7/22 休養日

7/23 コムニズマ C1 5500m まで偵察 C1 泊

7/24 コムニズマ 6000m まで偵察 BC へもどる

7/25 休養日

7/26 コムニズマ C1 5500m

7/27 " C2 6000m

7/28 " C3 6400m

↑ 田辺・江塚  
コルジェネフスカヤ  
登頂成功  
↓

7/29 " 登頂成功 7495m C3泊

7/30 C3 → BC

7/31 モスクビン BC で ヘリコプター 待ち、結局飛は"ず"

8/1 モスクビン BC — (ヘリコ) —→ アチクタン BC

8/2 レニン山 C1 4200m

8/3 " C2 5200m

8/4 " C3 6000m

8/5 (㊟) 体調悪く C3 で沈溺

(㊟) レニン山登頂成功 7134m

8/6 C3 → BC — (ヘリコプター) —→ オーシ → モスクワ

8/7 モスクワ 滞在

8/8 モスクワ → ハバロフスク 8/9 帰国

メンバー

隊長 田辺 治 (信大工山岳会、東海山岳会)

副隊長 江塚進介 (群馬岳連)

河口 攻 (東海山岳会)

小川裕正 ( " )

河西貴史 (SAC)

橋口 徹 ( " )

主催 東海山岳会 (丸、河、山)

6/14~16 屏風岩 東稜・雲稜 L藤江 橋口

6/14 晴れ 上高地 18:00-21:00 横尾岩小屋 BC

15 晴れ BC02:25-増水と暗闇で渡渉できず BC で一時待機。

BC03:50-渡渉点を求め横尾付近まで下流に行く。-

04:50 1ルンゼ押出-05:50 T4 尾根取付 06:15-

50+45-T4-コンテ-07:45 T2 08:00-大系通り

6P。-14:20 終了点-懸垂 4P-16:25 T2-T4-

懸垂 2P-17:25 T4 尾根取付 17:50-18:55 横尾-

BC 撤収-19:55 横尾 TS

16 晴れ TS08:00-10:00 上高地

1日に屏風を2本登るのは10年早いとの声だ。7/31

富士山 L. 橋口. 藤江. 安保. 神山. 田中. 松沢

7/5. 五合目バス停から10分ほど離れた所の  
林道のそばにBC設置

- 7/6
- ◎ 4:10 BC発
  - ◎ 4:35 6合目
  - ◎ 5:25 7合目
  - ◎ 6:20 8合目
  - ◎ 8:50 10合目～おはちまわり
  - ◎ 12:30 5合. BC.

富士山はとこも大きい。びっくりしたあととて  
空気がすがた。(はし)

南アルプス縦走. L. 世森, 佐藤, 高橋, 長谷川, 沢木

7/15. 松本 = 平岡 = 易老渡

7/16. T. 5:00 ~ 田平 (1500) 7:30 ~ 易老岳ピーク T. 12:15 ●  
水場はま. E < 8のので. 15L 上T.

7/17. T. 5:00 ~ 光岳 7:00 ~ T. 8:55 ●

T. 10:00 ~ 希望峰 12:45 ~ 仁田池 T. 13:05 ●

T. の水場は 往復 20分

7/18. T. 6:00 ~ 茶臼岳 6:40 ~ 上河内岳 9:05

~ 聖平 11:30 ~ 聖 T. 13:15 ●

7/19. T. 5:00 ~ 聖岳 7:05 ~ 鹿岳 11:10 ~ 百間洞 T. 16:10.

① → ②

7/20. T. 4:50 ~ 赤石岨小屋 8:30 ~ 9:30 ~ 赤石岳 9:40

~ 荒川小屋 11:30 ●

7/21. T. 5:00 ~ 荒川岳鞍馬 6:40 ~ 鹿沢岳 7:50

~ 高山果 T. 12:15 ①

7/22. T. 4:50 ~ 小河内岳 9:10 ~ 三伏峠 T. 10:35

◎ or ●

7/23. T. 4:20 ~ 本谷山 ~ 塩見小屋 7:10 ~ 塩見岳 8:20 ~ 9:20

~ 三ツ尾岳との分岐 9:50 ~ 三ツ尾岳 11:10

~ 雪段末 T. 13:35. ①

3

7/24 T.N 1:45 - 熊の平 8:10 ~ ~~熊取~~ 鹿島川 10:30 - 11:00  
 ~ 農鳥岳 12:00 ~ 下ノノ 30 ①  
 7/25 T.N 5:00 ~ 間の岳 6:10 ~ 北岳山荘 7:40  
 北岳 8:50 ~ 大池 11:50 ~ 広河原 13:30 ①

黒部丸山東壁 L小久保, 植垣

7/20 16:20 ◎ 黒四ダム  
 17:40 ◎ 内蔵助谷出合のサイレン  
 の下 B.C.

雨のため、黒四ダムでしばらく待機していた。  
 この時期、黒部川の水平歩道は非常に  
 悪い。

7/21 3:50 ◎ B.C.  
 4:40 ◎ 緑ルート取付き  
 5:00 登攀開始  
 9:15 ◎ 中央バンド ) 7P  
 9:50 登 )  
 上部 緑ルート取付 ) 1P  
 15:10 ● 終了 ) 6P  
 17:40 ● 岩小舎 B.S.

ルートを通して支点は安定しており、問  
 題ない。ルート中最もexciteするのは最終  
 ピッチの垂直ドロドロ凹角のくさった木登り  
 である。拵け2からはドシャブリの雨で視界  
 も悪く、草付きをすべてスタカトで行くが丸山  
 北山峰へのルートが分からず、小さな岩小舎が  
 あったため、ビバークすることにした。

7/22 8:00 ● 岩小舎  
 9:00 ● 緑ルート終了点 ) 4P  
 中央バント ) 5P  
 12:30 取付き  
 13:30 ↓ B.C.  
 15:30 ● 黒四ダム

雨の中、意を決して懸垂する。バントは40mの  
 空中けんすい。B.C.でメシを食って、雨の黒四ダム  
 へと帰りつく。(記. 竹下アロー)

北アルプス縦走  
 L 伊弉野、安保、神山、田中、三木

7/25 雷鳥平 T.S 4:30 ◎ — 5:20 ●  
 ガスが濃く雨も降り出す。引き返すことにする。  
 T.S 着 5:10

7/26 T.S 5:25 ◎ — 越 7:10 ◎ — 五色 T.S 12:50 ◎  
 8:00 ◎  
 雪渓を何度も渡る。ピッケルがあつた方が中心。風が強かつた。

7/27 T.S 4:40 ◎ — 越中沢岳 7:30 ◎ — ス工乗越 T.S 11:00 ●

7/28 T.S 5:15 ◎ — 北薬師岳 8:25 ◎ — 薬師岳 9:40 ● 刊  
 — 薬師平 T.S 11:30 ◎  
 マ三天に張つたら県の高山植物保護委員に注意された。  
 風が強かつたガスがこえて雨も降り出していやな天気だった。

7/29 T.S 4:40 ① — 太郎小屋 5:30 ① — 北, 俣岳 7:20 ①  
— 黒部五郎岳 10:20 ① — 黒部五郎小屋 12:45 ①  
黒部五郎小屋の稜線沿いの道は岩が狭く歩みにくいところがある。  
安保から黒部五郎小屋で鼻血を出す。

7/30 悪天のため沢殿。台風が日本海上にある。

7/31 T.S 5:25 ① — 三保蓮華岳 7:10 ① — 双六小屋 8:55 ①  
— 檜の肩 T.S 13:50 ①

8/1 T.S 4:55 ① — 檜ピーク 5:20 ① — 5:55 ① T.S 6:40 ①  
— 檜沢岩小屋 8:55 ① — サマ天 13:10 ①  
天気が悪いため穂高へ行くのはあきらめ檜沢を下る。

北ア 北穂 滝谷 7/28-8/1

メンバー L 藤江 植垣 田尻 世森 長谷川(哲)

7/28 サマ天 08:50 ① — 14:10 涸沢 ①

29 TS 06:25 ① — 08:40 南穂テラス ① 09:35 → トン

P2 フラック早大 L 藤江 田尻 B 沢をクラック尾根隊と  
共に下降する。先行パーティーが2つあり時間的余裕と天候  
悪化が予想されたので BC に引き返す。

トババス点 11:30 - 12:35 BC

7/30-31 は ①/① + テン

8/1 BC 08:30 ① - 15:00 サマ天

チテンばかりで 藤江と田尻は体も登りづらかった。フジ

滝谷。クラック尾根 植垣, 世森, 長谷川(哲)

登山開始 11:20 - 8P - 登山終了 15:40 ① → ①

7P 目。IV 級のコースはむずかしい

1年ほど落ちたシュツでヒレ踏んでいた

ロープのつがはずれてしまい、やばかった。

(詳細は別紙)



# 穂高連峰縦走 (7/29~7/31)

L 松下, 苑田 (部外者)

7/29 7:10 上高地① — 10:10 横尾① —

14:10 涸沢①

今日は天気がよく気持ちいい日だ。

苑田君もよく歩いた。

7/30 6:10 T.S 発● — 8:50 穂高岳山荘● —

10:15 奥穂高岳● — 14:45 涸沢◎

今日は朝から雨。予定を変更して奥穂高岳ヒュッテにする。稜線は風雨が激しく苦労した。

7/31 7:45 涸沢◎ — 10:30 横尾◎ —  
13:40 上高地◎

苑田君は初めての登山で“雨に降られて  
かわいそう”であつたが、“まあ仕方ない”  
（しょう。こりずにまた行きましよう）  
(松下)

北岳バットレス 8月4~6日

メンバー: L 長谷川 (聡), 藤江, 田尻, 長谷川 (哲), 神山

8月4日 広河原 — ニス

12:45 ① 広河原 — 16:00 ② ニス

8月5日 Cカリー大滝 — 峰四尾根

L 長谷川 (聡) 長谷川 (哲) 神山

4:30 ① BC — 6:05 ② 取175 (下部岩壁) — 6:30 ③ 登山開始 —

— 9:00 ④ 緩傾斜帯 — 10:30 ⑤ 取175 (峰四尾根) — 11:40 ⑥

軽率開始 — 16:00 ⑦ BC

カリー大滝は2ピッチ。緩傾斜帯は22モスタートで行動。緩傾斜帯を左よりに歩いたため1時間、511第四尾根の取りつぎを止めた。そのほか、1日、天候悪化のため懸垂決定。藤江・田尻パターを止めて2ピッチ懸垂LEAS、踏み跡をたどって登山道に出る。

8/5 ピラミッド左の4尾根の中央稜上藤江田尻  
07:00ハルSTART 2ピッチ登ると37ルートをかきかえ  
緩傾斜帯上りして、コンテで4尾根取付へ行く。2ピッチ登った  
所で天候悪化のためケス1ピッチで取付へもどる。後は急斜面  
に合流

8/6 天候回復のみにおこなったので下山決定  
BC 0750 - 0925 広河原

8/6-11 甲斐駒ABフラックL小保 牧野 植垣 伴野  
牧野さんの指のケガの為中止。

中央アルプス 西横川

8/10 L加藤 田尻 笹森 田中 安保 佐藤

◎

6:15 L5ピッチ平 - 6:45 溯行開始 - 9:25 二俣 -  
10:20 長谷部新道 - 13:00 L5ピッチ平

西横川は花こう岩の小滝が続くきれいな沢である。悪場もない。  
ロープウェイも利用しなくても、伊那谷で十分回りができる。

前穂北尾根上橋口植垣 藤江 安保 かの谷  
神山 三木 コータロウセン

- 8/14 ○ 6:15 サマ天
- 11:30 涸沢
- 8/15 ○ 5:15 涸沢発
- 6:20 5,6のコル
- 9:40 3,4のコル(2時間お)
- ◎ 14:14 前穂ピーク
- 19:00 サマ天

8

4山峰の登りはガラガラビルトを打ちがえると浮石が"いはいだ"  
よくビルトをみた方がよい。3山峰の登りで2時間近くなつた。  
天気があやしいときは取付でまづ方がよい(私たちは3,4のビルト  
まをれて10くらい抜けた) 3山峰は2ピッチのスタカド、2山峰の  
くがりは懸垂した。一年生をつれていくとき上級生の数は  
理想的には一年生の数+1が"望ましい"(はし)

戸隠 裾花川

△ 加藤 松下 牧野 長谷川 笹森

8/17

① 6:55 アブコ橋 - 8:40 ゴルジュ入口 - 10:10 魚止ノ滝 -  
- 11:50 魚止ノ滝上部 B.S

ゴルジュ帯は水量がさほどなく、最深部でも胸までである。魚止ノ滝  
は右岸を人工で抜ける。センは遠く、まきが悪い。B.Sはイナもつれて  
快適である。

8/18 ① 6:40 B.S - 9:00 ケルン分岐 - 14:00 九頭龍山 -  
- 14:40 - 不動 - 16:00 牧場

つめを誤り、アブコギを強いられる。- 不動に出るにはかなり左寄り  
につめなくてはいけない。"ゼルバンのかわた目印の木がある"とは  
牧場の店屋の主人の話である。

槍ヶ岳、小槍の登攀 △ 河西、高橋、松澤

8/17 ① 8:30 上高地サマーテント - - - ① 16:30 殺生TS

8/18 ① 3:50 TS - - - ① 4:30 槍の肩、日の出を見る - - -  
- - - ① 5:20 槍の肩登 - - - ① 6:20 左ルート取付 6:40 開始  
- - - ① 10:00 下降決定 - - - ① 12:15 槍の肩 - - -  
- - - ① 13:30 殺生のTS登 - - - ① 20:30 上高地ST

9

槍の肩から穂先への道を登り、小槍へのルンゼを下る。浮石が  
多く要注意。小槍と孫槍のコルと同じ高さになる。たう右へ50mくらい  
トラバース。4mの懸垂で取付へ。

2ピッチ目を高橋が登れるから、たのて1ピッチ目の終了点におろし  
セルフビレイをとらせたのち、ハーネスからザイルをほどかせ、2ピッチ  
目、終了点にいる河西が懸垂、45mで取付へもどる。そこからザイル  
を持ち1ピッチ目終了点にいる高橋のところまでフリーソロ(Ⅱ級の階  
段状)で登り、高橋とビレイして取付へ下ろす。

(記.河西)

### サマ天からの山行

- 8/5 前穂 L 佐藤 崇 林 恭己 ST 0500-0913 Peak 1100-1550ST
- 8/6 西穂 L 竹 園 以二 有 中止 雨
- 8/10 六白山 L 植 巨 宮 坂(三 動) 籠 神 山
- 8/12 ひの池 L 豊田(OB) 内田(OB) 植 巨 籠 谷 神 山 安 保  
松沢 つゆき 女 と 1 人 ST 10:30-14:00 池-1700ST
- 8/13 西穂 L 橋 口 藤 江 高 橋 安 保 小 林(客) 山 籠(客) 奥 田(客)  
ST 0620-1120 ヒラミッドピーク-1600ST.
- 8/14 六白山 L 古 賀(OB) ニ 々 々
- 8/14 霞沢岳 L 酒 西 0915ST-1315Peak-1710ST
- 8/15-17 奥穂 L 瀬 川(OB) 倉 田 直 美
- 8/17 穂 高 一 槍 L 植 巨 豊 田  
ST 0800-08:40 奥 穂 -14:10 槍 -19:00ST
- 8/17 荒 岳 L 籠 谷 田 中 ST 0700-Peak 10:10-1600ST

# 夏台宿

8月22日

記録者 難友統務

メンバー

A 10人

河内 加藤 藤江 徳森  
籠谷 神山 佐藤 高橋 蛭川

8:00 黒四ダム発 ①

3:45 内蔵助平T.S着 ②

おしくつかれた 山の夜はたかお

8月22日

記録者 田中宏治

メンバー

Bパーティ

植垣 橋口 田尻 伴野  
田中 安保 三木 松沢

8:00 黒四ダム発 ①

14:55 内蔵助平T.S着 ②

感想。 ひびきのキスリングたいてい  
肩こしもがいたくなりました。

② 田中宏治

8月23日

内蔵助平 → ハシゴ谷乗越 → 真砂沢ロッジ  
→ 長次郎谷 → 熊の岩

Bパーティー

① ウエカキ、フユエ、タユリ、ササモリ、  
ミキ、カキヤマ、ハセカワ、サトウ

4:55 内蔵助平 発  
8:00 ハシゴ谷乗越  
12:20 真砂沢ロッジ  
17:15 熊の岩 B.C 着

感想

ロッジまではたいていよくつたが、  
長次郎谷の登りはつらかった。  
(佐藤)

8月23日(金)

記録者 松澤

内蔵助平 T.S → 熊の岩 B.C.

Aパーティー

河田、加藤、橋口、伴野、籠谷、田中、  
安保、高橋、松澤

4:55 ① 内蔵助平 T.S 発  
8:20 ↓ ハシゴ谷乗越  
11:55 ↓ 真砂沢ロッジ着  
18:15 ② 熊の岩 B.C 着

今日の行程の核心、長次郎谷の雪渓は比較的しっかりしていたが、途中一ヶ所穴があいていて井足をフッこんでしまった人がいた。長い一日が無事すんで、ひとまずほっとする。

8月24日 六峰の登り

Aパーティー - Bフェイス 京大

△ 加藤、安保、神山

10:30 取付

11:15 登山開始

3ピッチ (35, 30, 35)

13:50 終了

ルート中にかなり滑るが多い。特に1ピッチ目ほつろい。3ピッチ目は快適である。

B party C face 剣稜会

△ はら、かご谷、まつ沢

10:40 取付 ○

10:55 登山開始 ○

1:30 登山終了 ○

1pitch 40m 2pitch 3pitch 35m <sup>4pitch</sup> 30m 5pitch 30m

1ピッチ目は半立端な所でヒールしてまた  
ガールが50mなら安定したテラスでヒールできる。  
4ピッチ目は日本離れした快道をリッジであった  
剣稜会はいくらでもルートがとれるのでローグ  
にもなれる。(はら)

C Party Aface 中大ルート

□ 藤江 笹森 高橋

1040 START 2 Pitch 35+50 1240 fin

1 Pitch 目は クックをレバ、クを交え登り  
なかなか手強い。ピシ点かせまのりで  
三人で登ると面どうである。フス、アブダが  
あとピシが楽である。

Dパーティー AFace 魚津 高  
L 植垣, 長谷川, 田中

8:00 T5発 → 雨天の為 T5入むことが出来ず。8:50着

10:00 再度出発

10:10 取付着

10:15 登山開始

{ 1ピッチ 486m  
2ピッチ 439m  
3ピッチ 430m

11:40 A7c-スの頭着

13:00 ③. 下降開始

15:10 他パーティーと 5,6Jルで合流

15:25 T5着

朝の天気が悪くて残念だったが、おれも苦もなく  
登山できた。今日は、楽しむことができたと思う  
(長谷川)

Eパーティー Bface 京ルート

L 河西, 三木, 佐藤

① 6:20 BC着

② 7:20 登山開始

③ 7:45 下降開始

④ 8:45 BC



天気回復したので再出航.

- ① 10:00 BC
- ① 10:20 取付 開始
- ① 13:20 終了. 3ピッチ
- ① 14:20 5.6川合流

≡ 不仙峠は他ノテ-と合流しBCへ  
 河西は根垣とV峠の登攀へ (20匹)

Fノテ- Dノテ- 富士大ルート

L田尻 伴野

- 10:00 ① TS 発
- 10:20 ① 取付着
- 10:45 ① 登山開始
- 14:15 ① Dノテ- 頭着
- 14:40 ① " 発
- 15:10 ① 他ノテ-と5.6川で合流
- 15:30 ① TS 着

1P目	リノ	伴野	20m
2P目	リノ	田尻	30m
3P目	リノ	伴野	45m
4P目	リノ	田尻	47m
5P目	リノ	伴野	45m

3p目は傾斜の大きい壁があつてつらい。壁の右側は斜先登がモロくない。  
 4p目は快適なり。5pで頂上直下に出ている(5m)ノテ-は。  
 頂上とよく保ちし道が広い。ゴ-7でそこを通り、頂上にまで  
 歩いて行く (田尻)

8月25日. 4ノテ- 中央4ノテ- 左ノテ- 魚津高  
 ~ 上部 左横線.

5:05 B.C 発. ⑤ <sup>がノテ-</sup>  
 途中 fix をはる(4m) Eノテ- の付近で道を1向建てる.

6:40 クレオパトラ=ドール 付近の岩小屋. ⑥ 刊  
 天気の回復を待つ fix をはる.(10m.)

7:40 4ノテ- の頭. ⑦ 刊.  
 しほらく 天気の回復を待つが良くなりそうも7:40のこ

登攀はあまのり引返す。

7月のクワンのとこに付いては20mほど。

9=50 Aフェースの岩小屋②

雪訓練隊と合流する。

(伴野)

10:00 B.C.麓 ②

雪訓練隊

12:00 雪訓練隊 B.C.麓 ②

(磐谷)

### V峰一の菱 河西、植垣

8月25日

② 13:30 BC 麓 — ① 14:10 開始 —

— ①/② 15:40 終了 (ハッ峰縦走路を下山)

— ● A face 岩小屋 16:40 (待機)

— ② 17:30 BC

① 取付はV、VIのコルより一段登ったところ。5m程の下部岩壁を越えハイマツ帯へ。

② カンテを手に登り、フェースを右上しクラックへ移る。クラック基部は脆い。

③ クラックに沿って直上する。ホールドは細かい。AO。残置ハーケンは適度にあるが、効きが悪いので要注意。

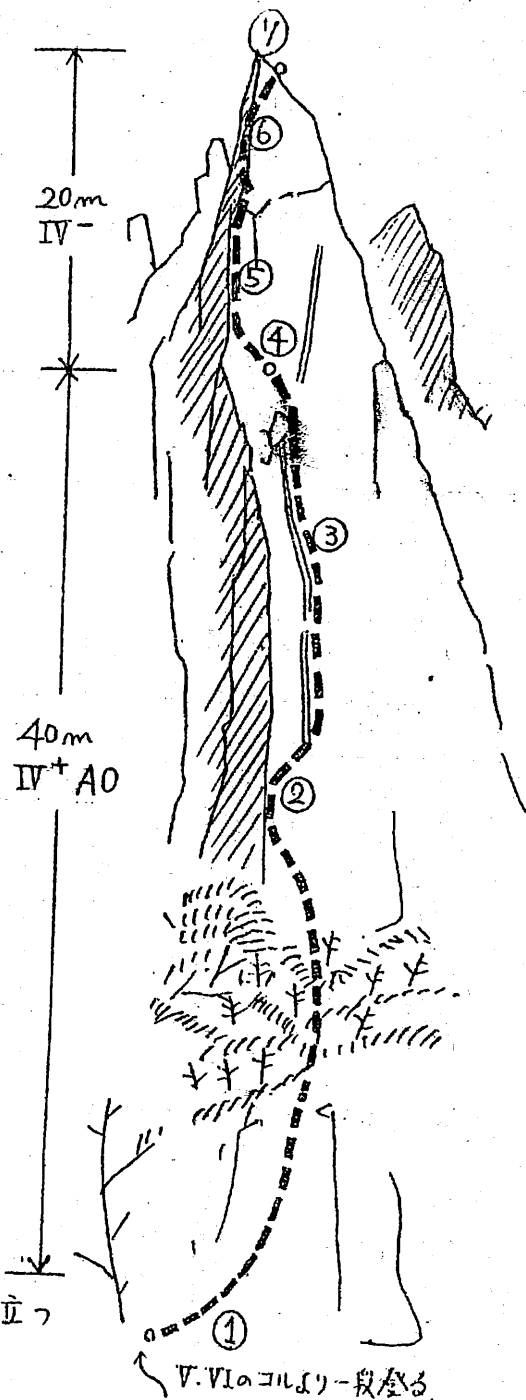
④ ボルトのビレイ突がある1ピッチ目の最後の方は、クラックが凹角状になっている。浮石多数

⑤ カンテ上に行く。ピンが無いのでハーケンを打つ。

⑥ ピナクルの手前で一旦傾斜がおちる。そこから三ノ窓谷側へまわりこみ。ややびりびり気味のフェースを登る。

⑦ 足のウラの痛みをかまなくてピナクル上に立つ  
下降路までスタカット25m

(記：河西)



8/25 A10-テ L河西, 籠谷 神山  
Aフェース魚津高, Dフェース富山大

5:15 B.C. 発 O

5:40 登山開始 (Aフェース)

1P 30m ぼろぼろ

2P 40m 凹角

3P 40m ゆるい傾斜

8:20 登山終了・Aフェースの頭

9:15 登山開始 (Dフェース) O

1P 25m

2P 40m

3P 25m 核心, ハングアウト ビレ定が不接点でどこも二かい

4P 40m ハイマツ地帯

5P 45m )ゆるい傾斜のリッジ

6P 10m

14:55 登山終了

16:45 B.C. 着 (神山)

8/26 B1P-テ L植垣 伴野 松澤

Dフェース 富米大, Bフェース

6:20 岩小屋

1P 35

2 35

3 40

4 40

9:55 Dフェースの頭

10:55 5.6のコル

11:05 トリツキ

ルートのやや右側をのぼる。

15:20 Bフェースの頭

16:45 B.C. 着

8/26 C11° 橋口・田中・高橋  
Dフェース富士山

5:45 ひとつき

9:50 ピーク

Aフェースウオツ高

11:05 ひとつき

13:00 ピーク

14:10 岩小屋

14:35 バース着

Dパーティー L. 藤江, 三木, 安保

Cフェース 剣杖会ルート

Cフェース RCCルート

5:15 BC着 ①

5:45 剣杖会ルート 取り付き着 ①

6:00 登山開始

1ピッチ 45m

2 〃 45m

3 〃 30m

4 〃 30m

8:35 Cフェースの頭着 ①

10:15 RCCルート 取り付き着 ①

1ピッチ 43m

2 〃 20m

3 〃 40m

4 〃 30m

5 〃 45m

13:15 Cフェースの頭着 ①

15:50 BC着 〇

剣杖会ルートは初め傾斜のゆるい階段状でラク。後半、きつくなりこわかった。RCCルートは階段状でラクだった。

8/26

E10-テ-

B7E-ス京大ルート

C7E-ス剣橋会ルート

5:15 BC出発 ①

5:45 B7E-ス京大ルート 取り付き着 ①

6:00 登山開始

1ピ、4 38m

2ピ、4 33m

3ピ、4 35m

8:10 B7E-ス頭 到着

10:25 C-7E-ス剣橋会 取り付き着 ①

10:45 登山開始

1ピ、4 38m

2ピ、4 38m

3ピ、4 25m

4ピ、4 35m

5ピ、4 38m

12:45 C7E-ス頭着 ①

15:50 BC着 ①

今日は、ドビーカンで、ルートも登りやすい所だ、E2で、  
おどく快適な登攀だ、た。ういし (1月だ、た。 (長谷川))

8/27

Aパーティー

ト:河西, 佐藤, 松本

北条・新井村 ~ イベント・ブランチ

4:50 ① B.C 発

7:55

三ノ谷-エド

10:35

登山開始

1p 30m弱, 2p 35m, 3p 40m, 4p 40m  
 15:45 登はん終了 5p 30m  
 16:30 チネ発  
 18:00 岩小屋  
 18:15 ↓ B.C.着

北条新村の3p目、A.Oで登るが、下系にあるように  
 登はん動作を誤ると苦しく、私は人エビ登ってしまった。  
 4p目のクランクのど真ん中に(トクル)のて  
 かい岩がうっている。そのまわりの岩もうっているので、落と  
 さないように要注意!!! 落石には、取り付きまで  
 の間も、落とさないように、あたらないよう 登はん中は毛布  
 に十分気を付けておくはいい。

松本

Bパーティー L.植垣 高橋, 神山  
 チネ中央4ニ-左右スベルニカト (神山は体調が悪いため  
 から G4ニ- Eクランク 沈殿)  
 4:55 B.C. 発 ①  
 7:55 三ノ窓の丸 ①  
 8:50 取り付き ①  
 9:20 登はん開始 ①  
 1ピッチめ 35m  
 2 " 45m  
 12:30 中安バンド ①  
 12:50 G4ニ-取り付き ①  
 13:05 登はん開始 ①  
 3ピッチめ 30m 人工登はんが下手だったと、  
 4 " 25m 落石をしないようにしたい  
 15:20 チネの頭 ① (高橋)  
 17:35 B.C.着 ①

8/27

C10-71-

L 橋口, 箱谷 三木

中央4L = 左1ヨウセン上部

5:00 B,C 発 ①

6:00 一本 4本 ①

8:50 取り付き ①

1 6:04 37 m

2 6:04 35 m

3 6:04 10 m

4 6:04 20 m

5 6:04 25 m

6 6:04 30 m

7 6:04 30 m

8 6:04 25 m

3:30 着

4:00 発

5:20 岩小屋 着

5:30 " 発

5:45 B,C 着

坂がつかつたが川には着かた。左1ヨウセン上部の  
最初の所は坂がつかつた。

8/27. D10-71-

L. 藤江, 田中, 長谷川

左下カニから左方カニ

6:50 TS 出発 ①

7:55 三ノ窓 雪渓 ①

8:40 取り付き ①

9:10 登山開始 ①

1ピッチ 420m

2ピッチ 417m

3ピッチ 415m

4ピッチ 440m

ルートミスにより時間切れ、下り子 (おんまゝ)

1ピッチ 450m

2ピッチ 445m

14:00 下降はじめ ○

16:20 取り付き ○

16:30 取り付き出発 ○

19:25 BC 到着 ○

F パーティー

L. 田尻, 安保

4人

北条・新村ルート → 9人 = C, d, e, f, g, h, i, j, k

4:55 BC 発 ○

7:55 三ノ倉のコルで1本 ○

8:50 取り付き着 ○

9:30 登はん開始 ○

1ピッチ 25m

2ピッチ 30m

3ピッチ 47m

11:45 中央バンド着 ○

12:15 登はん開始 ○

1ピッチ 30m

2ピッチ 30m

13:40 終了 ○

16:00 下山

17:40 BC 着

北条・新村ルートの核心得てアゲミを使いバテた。  
全体には浮石が多人気を使った。

(安保)



4-ネ左縦線

B.C 4:55〇 — 三の窓 7:55〇 — 取り付き 9:00〇

登攀開始 9:10〇 — 9ピッチ — T5 12:45〇

2ピッチ目 ピレイ点から右上に付加。岩がほつれルートと間違えは無い。

バントに出て左にトラバースするとピレイ点がある。

T5 13:45〇 — 7ピッチ — 頂上 15:55〇

ピッチをうろく切る方にすまは時間短縮できる。

8/28

Aピーター — L河原, 田尻, 伴野, 安保, 善谷, 三木, 高橋  
源次郎尾根 縦走, 松澤

5:15 〇 B.C 発

8:10 〇 長次郎谷と剣沢 出合い

9:00 〇 剣沢雪渓を少し登り、源次郎尾根のルンゼを登る。前にピーターがいて右側を登はん中。左にまわす。fixを張る。

13:15 〇 I 峰 着

14:00 〇 II 峰 着。II 峰 ~~直~~ 前、<sup>15m 直</sup> サイルを少し出す。

15:00 〇 II 峰からけん垂でコルへ。35m。

15:25 〇 コルからルンゼ浴い B.C へ。

17:05 〇 B.C 着

長次郎谷の雪渓をおりるのに時間がかかりすぎたせいもあり、時間切れで II 峰から懸垂でエスケープした。懸垂地点はしっかりしていて、残置シリングもいっぱいある。尾根はブッシュがすく、岩もでてくる。ピッケルはアルペンゼシに、ハーネスも念のためつけておいた方がよいでしょう。天気がよかったので、エスケープは残念だったが、I 峰も II 峰も快道でした。エスケープしたルンゼは落石の集りかたがエグいからここはさけられるもんならさけるべきです。  
(松澤)

8/28. B パーティー

↳ 植垣, 笹森

剣尾根 R4 - 剣尾根主稜上部

5:10. B-C 靴 ○

6:20. 池の谷乗越 ○

7:00, R4 取付 ○

~~本系~~ 大系 IPE ノーガイルで登り

7:40. 登攀開始 ○

1P 45m, 2P 45m, 3P 35m,

4P 40m, フリーゼいかに V+ はなす

5P 30m,

あとはコンテで R4 の頭まで, 岩はボロイ

8:10. 終了. R4 の頭 ○

R4 は岩もかたい. ホルツァーはいい

上部のコンテ部分は, ホルツァー

ピンも市販の

12:00 コル B ○

途中 2P. ガイルをたし

あとは, コンテとノーガイル

14:15. 剣尾根の頭 ○

剣尾根上部は, ハイマツと

いやらしい所ばかりで 岩もボロイ

なごめはすげえ

14:45. 長次郎のコル ○

15:10. B-C 着

池の谷ガリーは, 下にいくほど どんどん

悪くなる. 剣尾根 R4 は, 池の谷側

には, 気温が高かったため 寒くなく

フリーゼいけて 楽しいルートだった.

剣尾根上部は, なごめはいいが

長く, ガイルをたすと 時間が かかるので

だるかった.

(笹森)

8/28 C PARTY L 藤江 佐藤 神山 吹留米 A 中大  
 久留米 0630 START 神山 不調 化 釜 2 佐 又 付 3 0830 取 付  
 中大 1025 START 35 付 30 1315 終了

8/28 D10-71-

L. 橋口. 田中. 長谷川.

C7E-7 RCCルート

D7E-7 久留米大ルート

5:20 B.C.着 ①

5:35 岩小屋 〇

5:45 C7E-7 RCCルート 取付 〇

6:00 登攀開始 〇

1ピッチ 47m 4ピッチ 45m

2ピッチ 46m 5ピッチ 30m

3ピッチ 45m

8:15 C7E-7 の頭 〇

9:15 D7E-7 久留米大 取付 〇

9:30 登攀開始

1ピッチ 37m 4ピッチ 45m

2ピッチ 40m 5ピッチ 40m

3ピッチ 30m

12:55 D7E-7 の頭 〇

13:30 帰天開始 〇

15:30 B.C.着 〇

久留米大ルートに行けた充足感といはれた。(長谷川)

8/29 61峰ハハ街天の為中止。カテン

8/29 A party L. ウィガモ. はしロ.  
くまの岩ルートルート開拓

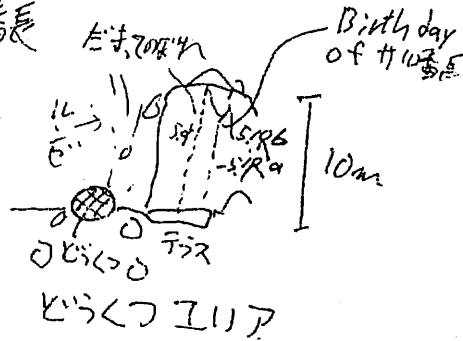
どうくつエリア

くまの岩右のどうくつのエリアを2本開拓

1. たまごのぼれ 5.9t (Top rope)

2. Birthday of サル番長  
タイル15106  
1-2115.1001  
(L→D→20)

両方とも、すきりした  
ラフである。小川は向  
たいびと、てまたのしい。



8/30 全員行動 BC-黒4タム

BC06100-0930直下-1200日谷-1750タム  
台風接近の為1日早く下山。

エッセンの反論。

朝食は、時に問題は 何か、たか。サマから ありしエエを  
かきりつからたので、単語に ちてした。

昼食は、今回、松尾の 買物上手シリーズを かつかたが、コソコ  
申く ありしエエが、量の かりにかきり。今回の かに長時間行動の  
多い、山行には、不意だた

夕食は、米の量が、少すかたが、(2日目お 1人1.8合、お2日  
1.4合の日が 相ぞ 1.35合の日が 旧だた) 計算すると、米は  
少すかたの 1年の 多い時は、かきり多めに ちていかねは  
なすかた、1.8合の日でも 少すかたという 声があった。

<笹森>

◎ 夏合宿決算

○ 収入 ¥15000/人 × 16 = ¥240,000 -  
 ¥10000/(加藤さん)  
 ¥1000/(たけこ・長谷川さん)  
 計 ¥250,000 -

○ 支出 Es. ¥95,420 - ¥58,822... - /人日  
 Eq. ¥47,576 - ¥27,988... - /人  
 交. ¥105,260 -  
 雑. ¥2,120 - (コピー代・印刷代)  
 計 ¥250,376 -

○ 残高 ¥624 -  
 ○ 不明金 ¥±0 -

\* 1人 ¥15000 - で足りるかどうかが危ぶまれたがギリギリだった。  
 これは、行きはマイクロバスを呼んだこと。帰りはトローリ-を使わず。  
 事業用のトラックに乗りたかたが33。往復ともにトローリ-を使い  
 足が出たかもしない。ちなみに車も1台使った。車の台数を増やせば  
 もっとよくなるはず。

50kg以上にトローリ-代は片道 ¥1250。荷物代は15kg以上 ¥170。  
 トローリの扇形始発は 7:30 ~。黒部湖発の最終は 17:35 ~。  
 扇形には早めに並んでおかないと、乗れないことを事前に伝えておく。  
 (田尻)

夏合宿 装備

消費量 ガス 9.5L (17L) 75cc/日・人  
 ×7 75本 (160本) 9.4本/日  
 ロ-ヤ 5本 (8本) 0.63本/日

残置 シュリンケ 19本  
 ボルト 3  
 ハーケン (fix用) 2  
 C7 1  
 fix用 7mm 0-7° 5m

反省・ハンマーの管理が悪かった。

準備と水曜日に行く場合はハーゲン、ポイント類を前もって点検し  
ておくおかげは知らない。

### リーダーの言葉

今年の夏合宿をふりかえり、まさきに思いつくのは、パーティー全体と  
通じて緊張感が著しく欠けていたということだ。

特に一年生はまだまだ力不足である。君たちが「余裕」と思ってい  
るものはスピードの無さと過信を履き違えているだけである。今回は  
天候がよかつたからなんとかなったということをおぼえて欲しい。

冬合宿は想像以上に厳しいということをおぼえかみしめて個人山行やトレ  
ニングに臨むこと。2年生は少い人数で大変だったと思うが、2年生としての  
自覚に欠けた行動が目についた。プレ冬にむけての奮気を期待する。

上級生は毎日一年生を引っ張りあげてくれて御苦労様でした。今年  
は、剣尾根、源治郎尾根、V峰と行動範囲を広げることができたが、  
未知の所へ行くときは地域研究を重ね、パーティーの力量をよく考え  
てから行動する姿勢を今以上に大切にしていきたい。

冬合宿は全員が協力しなければ成功しないのだから、これからは  
各自、人任せにせず自分なりに考え行動していきなう。

河西貴史

夏の個人山行は、天候不良であまり満足できるもの  
ではなかった。残念、夏合宿は、チンネが1回しか行け  
なくて残念だった。1年は人数が多く、仲良いのはイハヒ  
も、とテキヤと...。2年は2人だけゴクローと...  
も、とガンバ...。私もまだ反省のポイントは多いです。  
あと、源治郎尾根はおもしろかった。河西の交渉術は芸術的!  
道中...みんな車を持とう!! (田尻)

## 夏合宿反省

今年も台風もたいしたことにはなく、なんともいふこともなく終わった合宿でした。天気に救われた場面が何度もあったように思います。1年生はもってSPEED UPを心掛けるように。テニ場に着いてから、出発するとき、アプローチ、取付きに着いてから、どれをとっても遅いです。

信州に秋があると思ったらオーマキです。アッという間に冬山です。がんばってトレーニングしましょう。

ケンタロー

## 夏山の感想、反省

7月中旬から8月の初めまでパシール国際キャンプに参加したが、空気がすいのでとてもたのしかった。レーニンののぼりでは強風で小石がまわりパチパチと音があつたので、とてもいたが、たのびすいテニにもとてもたのしいと思つた。やはりまだ合宿が足りないように感じた。日本に帰ると日本の山はあつたのでとてもたのしいと思つた。夏合宿は、雨が降りおりのぼりなかつたのでとても残念だつた。(はしり)

## 夏の反省

## 伊半野 達也

縦走は天気などの判断が難しかった。もう少し積極的に歩けばよかったのではないか。北アの場合はピッケルは必要である。

合宿は一年を見せる余裕に欠けていた。もっと先のことを考証行動で見るようにしたい。登攀については、もっと支店、もう少し早くつくれるように努力したい。V線に登れなかったのは残念である。

1年生はもっとパワーアップしてください。パーティーについていければよしとするのではなく落石に注意を払ったり、現在位置がどこかを考えられるような余裕を持てるくらいにしてください。余裕があったと思っている者もいるようだが上級生には怠慢な行動にしか見えない。アプローチや下山、チンネの往復、源治郎に何故例年よりも時間がかかったのが一人一人よく考えてほしい。

2年生はもっと自覚を持て。合同岩トレや合宿の準備のときに自覚のなさが端的に表れていたように思う。冬は期待しているから頑張ってください。

この夏はルートファインディングミスにより時間切れとなり懸垂というパターンが多かった。ルート図をしっかりとみていれば時間違いようがないようなところだったのでこれからは気を付けたい。フジエ

窪森 雅也

今年の夏休みは、天気が悪く、思いどおりにすげせ  
まかたが、2つの求登りは、予定どおりいい。  
夏合宿も、不注意から入山でけがをってしまったけれども、  
登山は、教へなせなからたが、内容的には、そなほりに充実  
したものができたと思う。反省は、登り時のスピードがおいという点だ  
泳は、登る技術もまだまだだが、ガイルワークが未熟なため  
だ。秋は、アートの力をつけて、基本をしっかりとみにつけてい

7/15 からの縦走合宿からはいり、夏合宿で今年の夏が  
おしまいになる。縦走と夏合宿の間にあつた滝谷、北巻バットリス、  
裏銀ヶ岨、ほとんどもいままとど、たので、夏合宿には期待が大きかった。  
夏合宿は、ハツ峰を中心に行程を決めた。剣の山ととととに、  
一年生の夏から、登山者なんて思っているが、たのしみ、それだけで  
すごくうれしかった。実際には「剣」に行ってみると、なんか自分が  
今まで行ったどの山とも雰囲気が違う。セニセニとたつた、  
内容的には、僕と田中だけか、4人で行程を決めて  
残念だったが、「久留米大ルート」に登ったので、満足している。  
こんなことを書くと、四年生から昔いと言わゆるけど、自分なりに  
楽しい合宿だったなあと思ってる。

長谷川 雅也



## 反省と感想

高橋 敦

反省会するとき、少し余裕が出てきたと言った。そんなのは余裕ではないと  
しかられてしまった。要するに時間が余ったからそう思っただけのことか。反省すべき点  
は、何よりも歩き方が下手だということだ。他にも動作が遅いなどを指摘されたが  
自分ではその点を一番感じた。ただ、手抜きはしなかった。エッセンでも行動中でもけめい  
にやたつもりだ。その気持ちだけは大切にしたい。

## 夏合宿 感想と反省

神山 利木

当然のことながら岩トレと本キャンは全然ちがった。  
落石に対し細心の注意を払うこと、これは北岳バットレスや  
北尾根への山行で充分身にしみを感じていたのでそれなりに気をつ  
けていたつもりだがそれでも小さい石をいくつか落とすようになった。  
エッセンで終わる岩トレはちがって不安定な場所でのびしがある。  
だんだんびれてくる足先に気をとられ集中力が欠けてしまった。背中に  
ザックがあるということもちがう。ザックをしょって、キックをかけるとう頭が  
上がらず、ルートがよく見えなくて何度も悪い思いをした。登攀の時  
にはもう少し小さめのザックがよいと感じた。しかし、何よりも  
ちがっていたのは高度感である。登攀中は頭上、もしくは目の前の  
岩しか見えなくて、よくはわからなかったが「ホールド」、スタンスを  
捜して視線を移し変える拍子に視界のほしにキラキラと見えた  
景色は岩トレでは味わえない爽快感あるいは恐怖感を与えてくれた。

今回の合宿では習得した技術以上にこれから山行に向けて  
の多くの課題を得た。

まず何をするにもむむと動作を機敏にすること。縦走合宿で身に  
ついたと思っていたessenceにしてもまだできていないから、登攀に  
関しても瞬間がかかりすぎたように思う。登りきることにだけにはつたから



# 夏合宿の反省 1年佐藤 崇

千ネのとはんはこめかた。とにかく  
高度感かものすこくある。化条・新村  
バスの核心理ではあふみを使、たが  
ガイルに50%ぐらい体重をかけた  
し、た。雪割をした日に太ももと  
氷のかたまりでぶつけてし、た。次の日  
みんなが6峰に登っている時、テント  
ポールをしなげれば多ならな、た。  
とにかくとはんでは、千ネが1番印象  
に残っている。あと、移動では、初日と  
2日月の熊の岩まで行く時はとても  
~~気持ちよく~~調子がよくて気持ちよく  
歩けた。これは南アの縦走のおかげ  
か、と思、たりした。それ、下山の日  
も調子よく歩けるだろうと思、っていたら、  
すこく遅、た。バスの時間にも  
間に合、なくて、みんなにすこく迷惑  
をかけたし、た。本当に申しわけ  
ないと思、う。  
夏合宿が終、つて、これから自分か  
リードするのかと思、うととてもこわい。

## 感想 三木

熊の岩B.Cはとてもお、か。眺めはいいし、かつみねも近い。  
千ネも近い。夜の月明かりは、ライトがいらない。  
花土にたどりつくまでがやたらと遠い。それが欠点か。  
ふたも、体力のなさと、キスリングの重さを痛感させられた。  
尾のほかに、日々の記録が不完全だった、現在地が地図上  
でわからな、たりと、反省すべき点が多、た。  
次回の山行には、この経験を生かしたい。

《反省》

夏合宿の反省として、まず、出発までの準備が遅かった。もっとテキパキとやりたい。また、アプローチ等で落石を幾度も起こしてしまっただ。絶対に起こさないように気を配りたい。それと、雪訓を一度行ったが、技術的なことを忘れてしまっていた。また、ピッケルストップが全くできなかった。もっと訓練しなければいけない。下山においては、後半、バテて、皆に遅れをとってしまった。体力不足を痛感した。

全体を通して、緊張感が足りなかったように思える。

《感想》

剣の岩場はかっこいい。いかにも登りたくなるようなその姿。特にV峰がいい。いつか、V峰の頭に立ち上がり、こぶしを高くかかげたい。

VI峰も良かった。リッジを登っていると、仲間が別のルートに登っているのが見える。BCも見える。

あーあ、鳥にふりたい。

(安保)

この合宿によって感じたことは新大合宿の時より落ちついて行動できたと思う。それとテリトとはず時やエッセンの時も徒走合宿のおかげで何の不安もなくできたと思う。

登山に関してもいろいろ注意点を点かあった。たとえば<sup>ピッケル時</sup>未おたザイルを落としてしまったり。ザイルがだんごになったりしてザイル操作がうまくいかなかったりしてしまっただ。今後は同じような失敗をしないよう心掛けていきたい。

あと何だか自分の持ち物に対しての不安がある。何かどこにあるのか。持っていく物はこれだけでいいのかなどという不安があるので持ち物に対して自信をもてるようにしたい。

田中 宏治

ひょうたん池山行日記。 松澤 川子。

8月の、何日のことだろうか、17日だ、確か、「ひょうたん池」へ行った。  
コタローさんが誘ってくれた「サマ天の山行」だった。 サマ天生活  
にすっかりとけ込み、夏も体も腐りはじめていたころで、サマ天痛から脱  
すべく、苦んで行くことに決めた。 私の他に1年ほる人、安保と  
かご谷とリキ、そして植垣さんに内田さんにコタローさん、他2人、  
結局計9人の大パーティーになった。「ひょうたん池」かどにはある  
か知らなかった私は、すっかり「大田池」や「明神池」と一緒にし  
ていた。ハイキングだと思っていた。 まったくいや絶対、他の1年も  
同じように考えていただろう。 私達は楽しんでお昼の用意をした。  
グレープフルーツにレモンにまぐりまでもった。 ハチミツにマヨネーズ  
に、レモンもいっぱいもった。 そしてこれらの団装(といってもエッ  
センシャルのみだが)をどうわけてもとるか、という段階に至って、我  
々1年は70Lの、しかもアタックしかもっていないことに気付いた。  
このアタックに、わずかな個装と4等分した団装をパッケージしていく  
は……。 「無理」「もの足りない」「はずかしい」と、それぞれどう思  
ったかはわからないが、「アタック1つに4人分の個装と食料をいれ  
る」ことになった。 今思えば誰がこんなこと言い出したんだろう。  
70Lのアタックは、いっぱいにはくらくらした。 このアタックは、もちろん  
「アインツバイ」して公平に(?)30分ずつもつことに決めた。

我々の、いや私の考えはあまはかだった。

はじめに負けたのは私だった。 明神橋まで持って、そこではい  
めて地図をひらいた。「うわ、ここ行くっ!!」 明神から入るの  
は知っていたが、このつらさとは……。

次に負けたのは、かご谷だった。 内田さんと植垣さんが先に  
せち、どんどん高度をかせぐ。 大まかな荷物をもったかご谷は、もち  
ろん「後ろ」を歩いていた。 その後ろで私は思った、「1人  
に1つくらい思わせて、ペース違くなって、パーティーに迷惑かけて、  
ほんと私たちは自分勝手だったんだらう。せめて2つに分けていけば、  
上級生はまっとおこってる! まずいよー!!」後悔しながら後ろ  
を歩いていた。

この後悔、弱気がいけなかった。 次に負けたのは、また  
私だったのだ。 そしてその次に負けたのが、かご谷で……  
……その次が私で……。

ここで、植垣さんでたがった。荷物はしつと重くはった。  
そして、植垣さんは、こう宣告したのだ。「あん、おんまが負けたわい。  
そうして、なんと、私は赤ん坊を背負って荷物を持つハメになったのである。

次のアインツバイでも、植垣さんはこう突いた、「かご谷、弱  
気になつてゐるぞー」。アインツバイ、ドワイ!!! ゲーム  
中に千ヨキがしつ、気が手ちよくし度で勝負はつた。そう、千  
クニアル、千ヨキでかけたのは、かご谷でつた。

結局、ひょうたん池に、つくまでに私が5回、かご谷が4回荷物  
を持った。安保は最後によやく負け、そして利木は、なんと、か  
身で池までついてしまったのだ。

ひょうたん池は、確かに「ひょうたん池」だった。私が  
感じたのは、それだけだった。池よりも、道筋よりも、何より  
も心に残つたのは「くやしき」と「みじめさ」だった。

この山行で学んだ「アインツバイ」について。必要なのは  
カラッポの腹、そして大声と強気でしよ。かご谷のよう  
に、ゲームはどつて、千ヨキはあーで、と考えはじめるとハマルし、  
おんまの弱気になれば、最後でしよ。

帰りは、カッパ4つと食器のはいたアタックを、利木と安  
保が負けて持った。明神から、内田さんと植垣さんは  
梓川を流れていった。コータローさんと安保とかご谷は「レ  
ス」をして走っていった。私と利木も、その後を走った。  
そして、ひょうたん池を後に、昏思い思い、サマ天への帰  
途についたのだ。

こないだ、アルプス公園にいた最初、ジェットコースターみたい  
なやつにのつた。と中じおこした。あはちゆらいたけ  
に、かうえんちのやつおこわい。次に動物園に  
いった。羊はいた。羊は「X」とないていた。けれど、主  
たは「クウエー」となくやつかいた。うたもいた。うた  
はすくきたない。次にリスがいた。リスはちまかうご  
いてかおいかた。ためまもいた。おどかしたけと  
なんともならなかつた。ためまはかうたらなつた。さ子がいた。  
田中は、かほりさ子に、おどかしいと思つた。サルは見えて  
おもしろい。いさなやつかいて、個性があつた。しほらく  
かいて、世界があつた。やつ知り人に近いた。なあし  
思つた。動物園は、おもしろい。こいとつた。いさ。

篤彦 統陸

# 沖縄方言講座

講師 神山利木

いつの日か沖縄を訪れようと思っているあなた、その前に方言の予習をしましょう。沖縄旅行が2.5倍楽しめます。

- わん、おはは わんわー ..... 私、オレ、僕
- ㇿー ..... あなた、お前、\*複数は「ㇿたー」
- おじい、おばあ、おとー、おかあ ..... おじいん、おばあん、おとん、お母ん
- わらばー ..... 子供、ガキ供
- うちばーんちや ..... 沖縄の人、\*「しまんちや」ともいう
- たいちㇿー ..... 内地、つまり本土の人
- ちぶる ..... 頭
- ちび ..... 尻
- あま、くま、まー ..... あまこ、ここ、どこ
- わじる ..... おこる、いかる
- すぐる ..... ぼくろ
- しかす ..... おたてる
- しに、でーじ(地域によってはでーみといふ) ..... とても\*「しに、おれ、でーじ」が強い
- ぼがあ ..... 大きい、デカイ
- うっぴはあ ..... ちよっぴり
- あかー ..... 「痛い!」
- ぬー ..... 何、どうした

例

A: あかー!! (いたい!!)

B: ぬー。(何? どうした?)

A: ㇿーがわんの足ふんでるんてー。(お前がオレの足ふんでるんてー)

B: たったうっぴはあでわじらんてー。(たまたまはあのことでおこるてー)

A: でーじ痛かったばあー。(とても痛かったんてー)

C: えー、このルートまーから登るばー?(おれ、このルートどこから登るんてー)

D: あまからあんにー。(あまこからじゃあないの。)

C: あの岩でーじかぶってるばあ。(あの岩とてもかぶっているてー)

D: しに 恐い。(とても恐い。)

しかし、これらの単語を連発してもあなたはやはり「はいちやー」です。

\* 沖縄でも共通語は通じます。まちがっても英語を使わないで下さい。

1991. 信大山岳会夏山報告書